

沼栄工業

大型物件でも対応可能

『HYSPPEED工法』

(有)沼栄工業(おいらせ町 沼端一彦社長)はこのほど、八戸市下長3丁目で、天然砕石だけを用いた地盤改良工法『HYSPPEED工法』(ハイスピード工法)による有料老人ホームの施工現場を公開した。

同工法は、ドリルで地盤を掘削した後、天然砕石を投入し、転圧・締め固めしながら地盤の強度を高める工法で、砕石杭

を構築する段階で周辺地盤も締め固めるだけでなく、砕石パイル自体が水を通すため、地震による液状化が発生しにくい地盤改良工法として注目されている。

特に、一般的なセメント系固化材鋼管杭に代わって砕石によりパイルを構築するため、セメントや鋼管杭製造時に発生するCO<sub>2</sub>の削減に寄与するだけでなく、セメントか

ら溶け出す可能性がある六価クロム等の発生リスクを回避できるなど、環境保全型の地盤改良工法である点が大きな特長。

さらに、砕石を利用しているため、建物解体時に埋設物を撤去する必要がなく、土地評価に影響する埋設物問題もクリアしながら地盤強化できる特長を持つなど、「錆びない」「折れない」「汚さない」地盤改良工法として県内でも採用実績が急増している。国土交通省の最新技術情報提供システム(NEETIS)にも登録済み。今回公開した現場は、

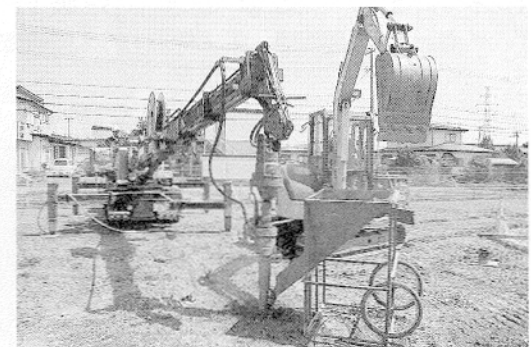
木造平屋建、約1000平方メートルの有料老人ホームで、『HYSPPEED工法』の本県代理店である沼栄工業が請け負ったもの。同社が手掛けた現場としては最大規模で、439本の砕石パイルを打設する。

この日の作業では、杭芯位置出しされたポイントに、ハイスピードハンマーで深さ3.5メートル、直径約400mmの掘削を行った後、バックホウで20トン程度の砕石を投入しながらピストンバルブによる圧密作業を実施し、手際良く砕石杭を構築した。

同社は、一昨年9月に県内代理店として加盟以来、県内外で約140か所の施工実績を有しており、今回の優良老人ホームの

ように、一戸建て住宅以外の建築物にも十分に対応可能です。今後も人と環境に優しい地盤改良で地域のお役に立ちたい」と話している。『HYSPPEED工法』についての問い合わせは、

(有)沼栄工業(T0391-2232 上北郡おいらせ町東後谷地38-2 電話0178-5212803)まで。



手際良く砕石杭が構築された施工現場